

傳教は超^エさせ給^ヒたり。世末になれば、人の智はあさく^①佛教はふかくなる事なり。例せば輕病は凡藥、重病には仙藥、弱人^{よわまひと}には強きかたうど(方人)有^リて扶^クるこれなり。問云、天台傳教の弘通し給^ハざる正法ありや。答云、有^リ。求云、何物乎。答云、三あり。末法のために佛留置給^メ。迦葉・阿難等、馬鳴・龍樹等、天台・傳教等の弘通せさせ給はざる正法なり。求云、其形貌如何。答云、一は日本乃至一閻浮提一同に本門の教主釋尊を本尊とすべし。所謂寶塔の内の釋迦多寶、外の諸佛、竝に上行等の四菩薩^②士となるべし。二には本門の戒壇。三には日本乃至漢土月氏一閻浮提に人ごとに有智無智をきらはず、一同に他事をすて南無妙法蓮華經と唱^フべし。此事いまだひろまらず。一閻浮提の内に佛滅後二千二百二十五年が間、一人も唱えず。日蓮一人南無妙法蓮華經南無妙法蓮華經等と聲もをしま^フず唱るなり。例せば風に隨^ツて波の大小あり。薪によて火の高下あり。池に隨^ツて蓮の大小あり。雨の大小は龍による。根ふかければ枝しげし。源遠れば流ながしというこれなり。周の代七百年文王の禮孝による。秦世^③ほどもなし、始皇の左道なり。日蓮が慈悲曠大ならば、南無妙法蓮華經は萬年の外末來までもながるべし。日本國の一切衆生の盲目をひらける功德あり。無間地獄の道

①[あさく...凡藥重] 23字缺文
 ②[答云有...正法なり] 52字缺文
 ③[も]一
 ④[等]一
 ⑤[るなり]へり
 ⑥[も]一
 ⑦道十(による)
 ⑧あり=出